

新潟県作業療法士会ニュース



No. 6

新潟県作業療法士会は、一般社団法人から 「公益社団法人」への移行を目指しています!

法人移行担当 石 井 登

1月の新潟県公益認定等審議会で承認され、新年度より「公益社団法人」となる見込みです!

法人:一定の社会的活動を営む組織体で、法律により権利能力を認められたもの

社 団:一定の目的のために結びついた団体

新潟県作業療法士会会員は現在、約980名。980名のみんなで「**作業療法士さん」という社会的な人格** をつくっています。その「作業療法士さん」は法律上で人とみなされ、権利を得ることで「作業療法士 さん」としていろいろな活動をすることができます。 それが法人です。

新潟県作業療法士会みんなで「作業療法士さん」





新潟県で「作業療法士さん」は、これまで一般の人(一般社団法人)として、活動してきましたが、 私たち作業療法士の行う活動のほとんどは県民の健康な生活という社会公共の利益をはかることを目的 としているものです。そのため、「一般」の人から「公益」の人として認めてもらうことを目指してい ます。

<新潟県作業療法士会の公益目的事業>

- 1. 作業療法の普及向上を図るとともに、会員の人格、倫理及び学術技能を研鑽し、もって県民の保健、医療、福祉の発展、充実に寄与する事業
 - ア. 作業療法の普及啓発を図る事業
 - イ. 会員の人格、倫理及び学術的研鑽を図る事業
 - ウ. 新潟県民の保健、医療、福祉の発展充実に寄与する事業
 - *公益事業を大きく一つにまとめ、下位項目をア~ウに整理して申請しています。

第61回全国研修会開催報告

全国研修会新潟会場 副実行委員長兼事務局長 児 玉 信 夫

平成29年12月9日・10日、朱鷺メッセにおいて第61回全国研修会が開催されました。参加者数は400名を超え、地方開催としては大変にぎやかな研修会となりました。参加者の経験年数の内訳として10年未満の会員が64%と多かったのは予想がついたのですが、20年以上の会員が13%いたことは大変うれしく、また新潟県の各地方からのアクセスの良さも証明できたのではないかと感じました。

この日のために1年数か月前より県士会会員5名が実行委員となり協会役員とともに準備を行ってきました。約20年前に全国学会が新潟で行われた際も実行委員として関わりを持たせてもらったのですがその時は毎週のように会議に出向き、最終週には連日の会議で準備を行い学会当日を迎えたものでしたが、今回は仙台会場の視察とわずか3回の会議のみでした。変わって活躍したのが電子メールで、1年間で約800通のメールのやり取りを行いました。忙しいと感じた時もありましたが、無事に終了を迎えると終わってしまった寂しさのほうが強く感じられるのは不思議なものです。

県士会員の参加は一般参加と座長参加、役員参加と形態は違いましたが約150名でした。約1,000名の 県士会ですので、この数が多いのか少ないのかは分かりませんが参加された会員の皆様においては大変 勉強になったのではないかと思っています。1日目の最後に行われた懇親会では新潟の地酒を準備しミニミニ酒の陣を演出、タレかつやのっぺなど地元の料理で楽しいひと時を過ごすことができました。2 日目に行われた公開講座では一般の方の参加もあり、ケア会議への関心の高さを実感することができました。

2日間で24講座、最大で9講座を受講できるこの全国研修会の参加費は事前登録で10,000円でした。研修会の参加費としては講座数で考えると破格の安さで、また多くの分野の最先端の講師の話を聴講できるとあって、現在の作業慮法を感じるには最高の企画であると思います。事後のアンケートからも90%の参加者が満足と回答していたことは十分な裏付けとなったと思います。来年度以降は開催の有無も含め様々な検討がされているようですが、ぜひ近い将来に参加しやすい近県で開催されることを望みます。その時には多くの県士会員と会場で情報共有できることを楽しみにしています。

さて、閉会式でもお話しさせてもらいましたが2020年には全国学会が新潟で開催される予定になっています。全国規模の学術大会を身近に感じることができる数少ないチャンスです。ここでは参加のみならず日常の臨床をまとめ、発表に挑戦するのも良いのではないかと思います。



作業療法全国研修会 模擬地域ケア会議に参加してみて

新潟リハビリテーション病院 認定作業療法士 櫻 庭 彰 人

昨年12月10日に作業療法全国研修会公開講座~模擬地域ケア会議~に参加させて頂きました。実際の個別地域ケア会議さながらの雰囲気のもと、作業療法士の立場から対象者の自立を妨げている要因や具体的支援内容について助言を行いました。講師の佐藤孝臣先生(日本作業療法士協会 理事)が見守る中であり大変緊張しましたが、研修会終了後には先生から「良かったですよ」と有難いお言葉も頂き、私にとって大変貴重な経験になったと感じております。私は、具体的かつ短的に要点をまとめて発言することは正直不得手です。そんな私が無事に発言することが出来た背景として、実際の地域ケア会議の見学・昨年11月に新潟県作業療法士会で開催した模擬地域ケア会議研修での研修事例作成と当日の模擬地域ケア会議への参加という経験が下地にあったことが挙げられます。事例提供者はどのようなことを作業療法士に期待しているのか、どのように発言を行うと伝わりやすいのか、どのような資料が当日配布されるのか、どこに重点をおいて短時間で資料を読み込んだら良いのかといったポイントが見学や事例作成を通し深く学ぶことが出来たと実感しております。地域包括ケアの実現に向けて、ますます地域ケア会議での作業療法士の活躍が期待されています。実際の地域ケア会議の場においても十分に活躍できる人材となれるようこれからも積極的に研修会参加や事例作成等研鑚を積んでいきたいと思っています。そして、地域ケア会議への参加の依頼があった際には恐れずに積極的に参加していきたいと考えています。

自立支援型個別地域ケア会議に参加してみて

地域包括ケアシステム担当理事 村 山 拓 也

新潟県では、自立支援型個別地域ケア会議のモデル事業を十日町市、新発田市、胎内市の3市で実施しています。県内でも自立支援型個別地域ケア会議は長岡市、柏崎市の2市でも開催されています。この話を聞くと、会員の皆様の地域でも地域ケア会議は開催されているのに、と思う方も多いと思います。皆様の地域で開催されている地域ケア会議は主に困難事例を対象としていることが多いようです。開催している5市では、対象者の自立支援に資する地域ケア会議を実施しています。

現在、モデル3市には県のアドバイザー研修を受講した専門6職種の代表者が参加しています。6職種は、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、薬剤師、栄養士、歯科衛生士です。それぞれが専門職の立場から自立に向けた具体的な助言を行っています。

私は、アドバイザーという立場で、新発田市と胎内市のケア会議に参加させて頂いています。とても良い勉強になると感じる一方、作業療法士でよかったと感じています。地域ケア会議での具体的な助言は、作業療法士としては普通に思いつくことだからです。ただ、時間的な制約等があるため、慣れは必要だなとも感じています。見学や模擬ケア会議演習などを通して準備し、実際の会議に参加しながら、参加者と一緒に成長するという気持ちで臨むことが大切だと思います。興味のある方は、参加してみると良いと思いました。

また、地域ケア会議関連について、厚生労働省では、介護予防普及展開事業における市町村向け手引きと専門職向け手引きを紹介しています。ご一読いただくと、地域ケア会議と作業療法士の役割について学ぶことができます。興味のある方は、厚生労働省HPよりダウンロード可能です。のぞいてみてください。

第3回 研修会と災害ボランティアの紹介

全3回で企画した災害支援に関しての紹介は、今年度はこれで終了です。

今までの中で、第1回は「災害対策委員会って何?」、第2回は「今までの新潟県作業療法士会の災害支援」をお伝えしました。ご覧になっていただけたでしょうか?ご覧になっていない方は、過去の県士会ニュースを見ていただけると幸いです。

今回は、研修会と災害ボランティアの紹介を行いたいと思います。

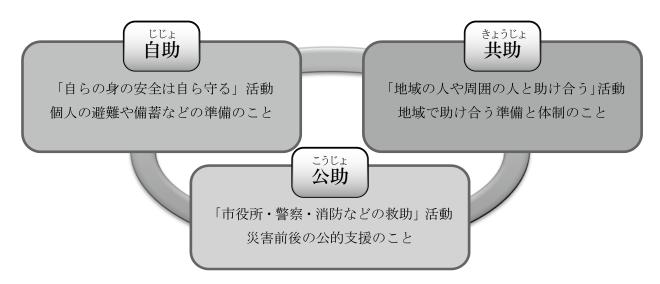
災害研修というとDMATや災害支援ナースなどの領域でリハビリテーション分野や作業療法においては、一部の人が行うことなんて印象をお持ちでしょうか?

リハビリテーション領域の災害支援においては、他職種と比べ、まだまだこれからの活躍が期待される領域であると感じています。新潟は過去に大きな地震を経験し、リハビリテーション関連職種が現地での活動を行った経験を持った県であり、過去を見直すことで今後の活躍に活かすことが出来ると思います。内容については、前回の県士会ニュースで報告させていただきました。

ここ過去数年間で、各地では地震・火災・水害・雪害などの災害があり、さらにその予測などが報じられています。ただ、<u>災害はいつ起こるか分からないからこそ、起きた時の想定の準備が必要です</u>。日ごろからの準備である防災・減災は、<u>いざ危険な時に自分や周囲の人の身を守ること(自助)</u>にも繋がると感じています。**身近な公的機関でどんな支援(公助)**があるか情報を知っている事も重要です。

さらに、そんなとき助けを求めることも重要です。その助け合いの支援(共助)をいいます。

この自助は、災害研修で学び、共助は災害研修での人脈拡大や災害ボランティアで準備できればと思います。



<災害研修>

主な県内での研修としては、様々な団体が様々な研修を行っています。医療職としての研修は、新潟大学医学部の災害医療教育センターで支援者側への教育や県内各地域での災害支援体制の支援の研修等を行っています。新潟県作業療法士会ホームページに記載されています。また、新潟エマルゴ協会では、長岡赤十字病院や佐渡総合病院で机上での避難所運営ゲーム等の研修を行っています。その他情報交換を含めた研修は、新潟県社会福祉協議会の新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会、新潟県災害ボランティア調整会議、中越防災安全推進機構、にいがた災害ボランティアネットワークなどがあります。

<災害ボランティアは敷居が高いと思う方> あまり難しく考えずにこんな風にはじめてみては?

アウトドア タイプ キャンプやミリタリ―が好きで結構防災用品も 使えるなと思うアウトドア派のあなた そんな貴方にはこれ!

アウトドアで保存食作り 体験・防災用品を見に行く

地域の班長 タイプ ちょっと面倒だけど今年地域の班長になり 防災・避難訓練に出る予定のあなた そんな貴方にはこれ! 地域の避難訓練に出て、 自分は何が出来るか考え てみる

管理職タイプ

これからは地域の活動だと言われ、 でも何をしたらいいか分からないあなた そんな貴方にはこれ! 管理運営ゲームや防災かるた・ 防災トランプを使う 災害対策委員へ声掛け

意識高い系タイプ

医療職として専門的に学んでみたいと思っている 意識高い系のあなた そんな貴方にはこれ!

「ガッツリ災害研修会へ 参加」なんてどうでしょう?

<災害ボランティア>

災害ボランティアには、協会の災害支援ボランティアがあります。

災害支援ボランティアには、「活動マニュアル」「受け入れマニュアル」「大規模災害時支援活動基本指針」のマニュアルがあり、活動の準備が出来るようになっています。活動にはボランティア登録が必要となっていますが、基本的に活動への参加は自由となっています。

協会の災害対策本部は、災害支援ボランティア登録者に向けて派遣要請のメールを配信し、派遣条件 の合った登録者と連絡調整室の間で調整を行い、派遣ボランティアを決定します。

現在は、熊本地震の「福耕プロジェクト」を行っています。

目的:作業を通して住民それぞれの継続した生活支援を行い地域コミュニティーの構築を行う。

内容:レクリエーションなど非日常の楽しみを演出して心と体を元気にする。

活動を通じて生活不活発病や閉じこもりを予防し、楽しみ、生きがい作りの提供を行います。

連絡先 新潟県作業療法士会

災害対策委員長 斉藤 裕久 岩室リハビリテーション病院

TEL:0256-82-4100 (病院 代表番号)

E-Mail: niigata.saigai@gmail.com(個人アドレス)

Facebookページ:新潟県作業療法士会 災害対策委員会

このマーク見かけたら 「いいわ」下さい



認定OTになろう! ~生涯教育の進捗を"見える化"する取り組みの紹介~

新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院 児 玉 信 夫 認定作業療法士 児 玉 信 夫

「俺、生涯教育なんて興味ないんで」「制度がよくわからないし、大体認定とかってなったからってメリットあるの?」。10年くらい前そんなことを言っていました。そこで他職種の先輩からこう言われました。「なってから言え!」「内容分かってもいないのに文句を言うな!」「おかしな制度だと思ったら自分が認定になって中から変えろ!」。衝撃でした。本当に何もわかっていないのに色々言っていた自分が恥ずかしくなりました。新潟で必須の研修が開催されたことをきっかけにその後1年で認定OTになりました。現状の制度の中で「メリットは?」と聞かれるとうまく答えられないのは事実ですが少なくても協会員である以上、協会の定める教育方針にベクトルを合わせることは重要な事であり、またディメリットがないことは間違いありません。今後PTやSTと制度が統一されていくと病院機能や診療報酬に影響を与える時代がくるかもしれません。そんなこともあって当院では協会の定める生涯教育制度の進捗状況を下表のようにまとめ「全員が認定OTになろう!」と声掛けをしています。このように状況を "見える化" することにより『計画的な研修会参加』と『日々の業務を事例としてまとめるクセ』を習慣化することが可能となりました。取り組みを始めて約2年。近隣の病院のOTにも積極的に声掛けを行い事例報告など着実に成果が出はじめています。近いうちに認定OTが誕生するのではないかと期待しています。個人では息切れしそうな長い道のりも組織や仲間で声を掛け合って取り組むことで頑張れるのではないかと考えています。皆様も仲間を見つけてぜひ試してみてください。

作業療法士生涯教育の進行状況

●生涯教育基礎研修

研修 スタッフ		A(10 年目)		B (9年目)		C (5年目)					D (3 年目)	
	現職者共通	修了		修了		1	2	3	4	5	修了	
現職者研修	(10 テーマ)					6	7	8	9	10	115]	
研修	現職者選択	MTDLP	領域	MTDLP	領域	M	ГDLF)	領域		MTDLP	領域
	(MTDLP+身障 or 精神 or 発達 or 老年)	修了	身障	修了	身障	1	修了		老年		修了	身障
	所修自由選択(30 ポイント) 者研修終了で 20 ポイント付与	終了		終了		38/50 ポイント					36/50 ポイント	

[※]現職者研修が修了し実務経験が5年以上の者が認定作業療法士選択研修を受講可能

●生涯教育認定作業療法士取得研修

認定作業療法士共通研修	教育	研究	管理運営	教育	研究	管理運営	教育	研究	管理運営	教育	研究	管理運営
心だけ来派伝上共通切じ (教育 or 研究 or 管理・運営)	\bigcirc											
認定作業療法士選択研修												
(2 講座以上)												

■車例報告

● * *//											
事例報告登録	0/9	9/9	0/3	1/9							
※学会発表 or 論文投稿 2 つまで可	0/3	2/3	0/3	1/6							

┃福祉機器紹介┃

悠遊健康村病院 作業療法士 浮 須 美 希

今回紹介するのは、移乗用具の「フレックスボード」です。この 商品はボードとシートに分かれており、中のボードがアコーディ オン形状となっています。変形しやすく移乗時の姿勢にぴったり フィットしやすい事が最大の特徴です(図1)。

ベッドの角度を車いすに合わせる事で、リクライニング車いす・ ティルト車いすへの移乗が行えます(図2・3)。ボードは曲げず に使用する事もでき、ベッドとストレッチャー間の移乗用としても 利用できます。



図 1

シートは、ボードと離して使用する事も出来、ベッド上でも滑り やすく上下・左右の移動もスムーズにできます。

端座位を経由せずに車いすへの移乗を行う事もできるため、全身状態の不安定な方への離床機会としても利用出来るのではないかと思います。

実際に使用すると、ベッドや車いすへの移乗の際は、はじめに肩甲骨・骨盤をボードにのせる必要があります。しっかりボードにのせることで、スライドさせやすいと感じました。スライドさせる際は上部体幹や下肢を支える必要もあり二人以上の介助が必要でした。またシートは滑りやすく、リクライニング車いすへの移乗など角度のつく移乗の際は、殿部が下方へ滑りやすかったです。

介護職員からは、「滑りやすいため、スピードがつきやすい」という声が聞かれました。また円背などで脊柱の骨突出部の多い方はボードに当たる部分の痛みを訴える事もあるようです。

以上の注意点を介助者に伝える事で、病棟・施設でも活用していただけると思います。ぜひお試しください。



図 2



図 3

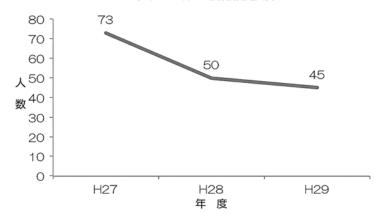
平成29年度 高校生職場体験の実績報告

地域向け広報委員会 委員長 中 嶋 優 太

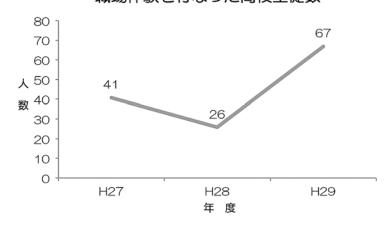
今年度は45施設の病院・施設より受け入れ協力可能とお返事をいただきました。このうち、14施設には職場体験の希望があり、夏休み期間で合計67名と例年に比べ多くの高校生が職場体験を行うことができました。お忙しい業務の中、受け入れへのご協力を頂きました皆様には改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

来年度以降も本事業は継続していく予定で、次年度早々にも各施設向けに受け入れの可否をお伺いするアンケートを送付させて頂きます。報酬改定等でお忙しい時期とは思いますが、様々なニーズに応えるためにもできるだけ幅広く多くの施設の皆様のご理解とご協力を頂けますよう宜しくお願い致します。

受け入れ可能施設数



職場体験を行なった高校生徒数



福祉 · 労災指定

各種車椅子・座位保持装置・ベッド コミュニケーションエイド・福祉機器一般 介護保険レンタル・介護住宅リフォーム相談

(株) **G・T・**B

(オーエックス新越)

〒956-0017

新潟県新潟市秋葉区あおば通2丁目28-27 TEL 0250-25-2626 FAX 0250-25-7710 http://www.gtb-niigata.jp/

義肢・装具・介護レンタル

ご相談ご用命は弊社にお任せ下さい。

社団法人 日本義肢協会登録・中部125号



A 梯田村義肢製作所

〒950-1151 新潟市中央区湖南21番地11

TEL 025 281-0303

FAX 025 281-0339

平成29年度 第3回理事会 議事録

日 時:平成29年11月11日(土)13:45~17:15

会 場:新潟県作業療法士会 事務局

出席者:横田、児玉、四方、石井、貝淵、尾崎、伊東、 片桐、高頭、松岡、村山、吉井(以上理事)、 水越(以上監事)、本間(書記)

欠席者:一ノ本、菊入、北上、小山、佐藤、能村、松 本(以上理事)、渡辺(以上監事)

〈報告事項〉

- 1. 事務局報告
- (1) 会員管理 (平成29年11月11日現在) 会員数981名 (休会53名含む):

入会4名、退会0名、復会3名、休会1名 退会者1名の届け出があったが、退会年月日に ついて再度確認する。

(2) 平成30年度総会について 平成30年5月27日(日) リサーチコアにて開催。

〈協議事項〉

- 新潟県作業療法士会第24回公開講座 日時は3月18日もしくは21日。講師は横澤富士子 氏で決定。会場→①さいわいプラザ、②ハイブ長岡、 ③アオーレの優先順位で会場を押さえる。
- 2. 次期役員体制 平成30年5月役員改選。3月定期便にて公示・立 候補受付。5月定期便にて告示。
- 3. 公益法人移行・進捗 第2回理事会で協議した公益目的事業計画内容を 9月に提出、県からの回答がない状況。
 - →1月の審査会に向け、申請締切日を確認し進める。 また、3月審議会で承認となっても4月1日移行 は可能であるとの確認はとれている。
 - →新定款については法人移行の日をもって有効とな る
 - →公益法人移行の祝賀会について次年度の事業計画 へ盛り込む。

4. 財務部

- (1) 平成29年度収支予算書について
 - ・財務の執行について、公益目的支出計画(事業費の総額と単年度予算が重要)、内部留保に問題は無いのか。部局・委員会の理事・委員長から予算についての報告が必要。
- →各委員会の委員長や会計担当者だけでなく担当理 事が随時決算額の確認をしていく。

- (2) 研修会開催における生涯教育ポイント及び参加 費について
 - ・研修会当日受付において確実に協会員、県士会 員であることを確認する。(協会員でない場合、 ポイントシール付与できない。県士会員でない 場合、非会員の参加費徴取となる)
- →学会は申し込み方法の関係上、当日の受付で確認 する
- →各委員会も受付に振込用紙を準備する。
- →県士会番号については案内文書等で記載事項として求める必要はない。
- →未納者の対応は担当理事が行う。執行部の立場から、入会をお願いする形で対応していく。
- →各理事から担当部局・委員会へ周知徹底する。

5. 事務局

- (1) 会員管理、個人情報の取り扱いについて 今後、協会員=県士会員となり、入退会システムが共通となるにあたり、個人情報管理に関する 規定の部分で定款を5年以内に変更する必要がある。
 - →個人情報管理責任者(事務局長)を明記する。
 - →規定はマイナンバーの管理について定めたものが あるので、それが使用できるか確認する。
- (2) 個人情報の使用範囲(内部・外部)について 同意書など必要となる。
- 6. 地域包括ケアシステム推進委員会
 - (1) 来年度の4月より胎内市、新発田市、十日町 市の自立支援型の地域ケア会議への派遣が始ま る。胎内市、新発田市に派遣できるOT会員が必 要、会員の質の担保が課題。
 - →各市町に3名程のリストアップと人材育成を図り、 人材バンクを確保していく。
 - (2) 新潟市地域の茶の間について 次年度の課題について
 - →再来年度以降は県士会を通さず、事業所を選定し 派遣。また、市と事業所との直接交渉の方向。

以上

入会、会員情報変更の届けはお早めに

まだ、入会届を出されていない方、所属先 の変更があった方は、早急に事務局に届けく ださい。

ご注意!! 入会届…郵送のみ可。 会員情報変更…FAX可。

施設紹介のページ 🗟

介護老人保健施設 千歳園

熊 倉 彩 子

千歳園は、新潟県庁に隣接し、新潟中央病院の併設の在宅強化型老人保健施設です。リハビリ職員はOT4名、PT8名(うち非常勤2名)、ST1名です。入所・短期入所・通所リハ・訪問リハ事業を展開し、入所生活での支援はもちろん在宅復帰に向けた取り組みや在宅生活を支援するためのサービスを提供しております。



私自身は入職して2年とまだ浅いものの、多職種連携が本当に大事だと感じる日々です。カンファレンスを重ね、リハビリ職員が行う個別リハビリはもちろん、看護・介護職員による生活リハビリも重要です。例えば、普段は車いす移動の方が食堂やトイレへの移動時に歩く時間を設けたり、生活フロアーで自主トレを実施します。認知症の分野では、現在の取り組みとして、利用者様に対し作品作りや役割などの日中活動を提供したり、家族に思い出の写真や品物を持参していただいたりといったことで「活動・参加」の視点で介入するよう心がけております。また、OT同士で勉強会を開き、お互いの意見交換をしております。今後もこれらに力を入れ、生活の視点でより多様な利用者様へのサービスが提供できるよう邁進したいと思います。



介護用品、レンタル・販売 リハビリ機器、医療機器販売

(株)いわしや 悠久堂医科器械店

本 社 TEL 0258-47-1848 新潟営業所 TEL 025-284-6866

広報委員会ではこちらに掲載する皆様の作業療法の成果を募集しています!Activityによる作品や利用者様との思い出の写真等なんでもOKです!少しでも興味のある方は下記の連絡先まで!!(次回発行は6月頃を予定しています)

新潟県作業療法士会事務局

〒950-0872

No. 6 2018年2月28日発行

発行責任者:横 田 剛編集責任者:尾 崎 生

発 行:一般社団法人新潟県作業療法士会広報部

〒950-0983 新潟市中央区神道寺2-5-1 総合リハビリテーションみどり病院

印刷:株式会社 タカヨシ